

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさま園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年1月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年1月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間や環境が分かりやすく、心地よく過ごせる環境になっている。	子どもの導線や環境設定(ピアノの位置やロッカーの位置)を毎年子どもたちに合わせて考えている。	現在行っていることを基にし、改善点がある時にはすみやかに対応していきたい。
2	子どもに対する専門性のある支援や支援計画の作成及び計画にそって支援が行われている。	職員間での情報共有及び支援の細かいところも共通認識として、共有している。	専門性の向上のための研修を行い、個々の成長と園としての質の向上をはかる。
3	保護者への支援と対応。	保護者の方と密に連携し、日々の様子を共有している。	保護者の思いによりそい、何気ない会話も大事にしなが、関係をしっかりと築き、質の向上をはかる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流。	必要時には限定された中での実践はあるが、定期的なものではない。 子どもにとって、意味のあるものか考える中で、メリットだけではないと考える。	可能なところは保護者のニーズにともない周知していく。
2	保護者交流会や学習会の実施。	学習会は行っているが、不定期ではあった。 交流会も企画できていない。	不定期であったので、年間を通して、定期的に計画を立てて行うとともに、交流会も保護者会を通して考えていきたい。
3	きょうだいへの支援。	きょうだいへの支援や関わりは、利用児を通して出てくる話の中で対応しているが、きょうだい同士の交流等は企画できていない。	学習会の開催。